

地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

Chapter 1

商社と環境問題

🕒 1:57

人類は豊かな自然と共存しながら暮らしてきました。

しかし、近年、文明や産業が急激に発達し、自然環境に大きな負担をかけるようになってしまいました。

そして地球温暖化や環境破壊という、今日の大きな社会問題がクローズアップされるようになったのです。

「限りある地球資源を有効に使い、次の世代に豊かな地球を引き継ぐ」——。その使命を持つ商社は、さまざまな環境問題に対して多種多様なプロジェクトを進めてきました。

環境問題は「みんなの地球」という視点で解決していかなければならない重要なテーマです。地球温暖化・資源の保全・環境汚染・自然破壊・エネルギー問題などあらゆる環境問題は、世界が一つになってこの豊かな地球を守ろうという、強い意識がなければ解決されないことなのです。

地球上でグローバルに活動する商社は、世界のさまざまな地域で、そこに暮らす人々と協力しながら、環境問題の解決に取り組んでいます。

世界中の人々に、より良い暮らしを提供すると同時に、限られた地球の資源と美しい自然環境を守る——言い換えれば、商社は産業の発展と環境保全のバランスを保つオーナーとして、社会的責任を果たそうと日夜努力を重ねているのです。

地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

Chapter2

資源を守る (1/2)

🕒 3:24

現在、最も深刻な環境問題の一つに、大気中の二酸化炭素やメタンガスなど「温室効果ガス」の急激な増加がもたらす「地球温暖化」が挙げられます。

最近の異常気象も地球温暖化が原因であろうといわれ、早急に対策を講じなければ食糧危機のような、さまざまな悪影響を引き起こしかねないと言われています。

温暖化の最大の原因は石油や石炭など、化石燃料の消費の増大にあると考えられています。

そこで、石油や石炭などに頼らない、「地球に優しい自然エネルギー」を利用する、クリーンエネルギー開発が進められてきました。

風の力を利用する風力発電や、太陽の光や熱を利用する太陽光発電などがそれに該当します。また、廃棄物やさとうきびなどの作物を原料とするバイオマス燃料やバイオマス発電、電気自動車などに使われる燃料電池や水素燃料の開発、そして供給にも積極的に取り組んでいます。

地球温暖化の防止には、世界各国の協力が必要です。1990年には、2008年から2012年までの間に、先進国全体の温室効果ガスの排出量を1990年時点に比べて、少なくとも5.2%削減することを目標とする「京都議定書」という国際的な約束が交されました。

商社はこの目標値達成のために、さまざまな温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトを推進し、世界規模での温室効果ガス削減を目指しています。

地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

Chapter2

資源を守る (2/2)

🕒 3:24

資源の有効利用という観点では、リサイクルも大切なプロジェクトの一つです。

アルミや鉄などの金属類に始まり、プラスチックや紙など、そして工場やレストランから出る使用済みの食用油を、また液晶製造に使われる現像液などもリサイクルして再利用するシステムを開発しています。さらに、自動車やパソコンなど工業製品のリサイクルにも力を注ぎ、資源だけでなく製品を再使用するプログラムも推進しています。

資源を大切にすること、これは今や国際語になった「もったいない」という意識を、私たち消費者一人ひとりから大企業に至るまで、社会全体で共有することから始まります。

エネルギーを有効に使い、無駄なゴミを出さないようにするという毎日の小さな心がけが、私達のかげがえのない地球を守ることに繋がっていくのです。

地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

Chapter3

自然を守る (1/2)

🕒 2:07

人は自然の与えてくれた資源を利用して生きているわけですが、ただ一方的に消費するだけでは、いずれ地球上の天然資源は無くなってしまいます。

そこで、自然環境を守るために資源を浪費しないことはもちろん、使った分だけは元に戻してあげる、ということも大切になってきます。

紙を作ったり家を建てるために必要な木を伐採したら植樹をして、森林を保全することは、単に資源を守るだけでなく、二酸化炭素の削減、ひいては地球温暖化防止という、大きな役割を果たすことになるのです。

また、森林を守ることは、そこに生きる動物や植物を守ることにもつながります。

商社の植樹や熱帯林再生などの活動は、大学の研究機関や地域の保護団体などと協力して行われています。

「海の熱帯林」とも呼ばれるサンゴ礁の保全も大切な環境プロジェクトの一つです。

地球温暖化の影響による海水の温度上昇が原因で、多くのサンゴ礁が危機に瀕しています。

商社は、この美しいサンゴ礁を守るために、調査研究活動を積極的に展開しています。

多くの海洋生物のすみかや産卵場所でもあるサンゴ礁を守ること、それは海に棲む生物だけでなく、海という環境全体を守ることにもなるのです。

地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

Chapter3

自然を守る (2/2)

🕒 2:07

地球上には人間だけでなく数多くの動物や植物が自然の恵みを共有し、お互いに支えあって生きています。

自然環境を守ることは、地球に住むあらゆる生き物にとってとても大切なことなのです。

地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

Chapter4

人間を守る

🕒 1:23

「環境を守る」ことは、そのまま「人間を守る」ということにつながります。

「商社は社会の一員である」との考えから、常に地域社会とそこに住む人々との結びつきを大切にしてきました。

世界各地の環境保護団体への支援活動を行い、同時に社員や家族のボランティア活動を積極的に推進しながら、国際的な文化交流にも力を注いでいます。

また、環境保全に関する認識を深めてもらうためのセミナーやワークショップを開くなど、教育活動や環境問題に携わる人材の育成もすすめています。

さらには、地震や台風などによる災害被災者への支援活動や募金活動も、国内外を問わず積極的に行っています。

これらの支援活動一つひとつが、商社が企業としての社会的責任を果たすことになると考えています。

地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

Chapter5

日本貿易会 地球環境委員会

🕒 1:08

社団法人日本貿易会は、日本の貿易と貿易業界の健全な発展を図り、日本経済の繁栄と国際経済社会の発展に貢献する目的で、1947年に設立されました。

「未来をひらき、世界を結ぶ」。

日本貿易会はこれからも、グローバルな視点で情報を収集し、経済活動とのバランスを保ちながら、環境への貢献活動に取り組んでまいります。